JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2024 10

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation
〒 162-0814 東京都新宿区新小川町 5 番 24
TEL：03-3260-6331　FAX：03-3235-4324
Mail：jwaf@jwaf.jp
発行責任者／川嶋髙志　発行年月／ 2024 年 10 月

モッコ岳

「焼石連峰の紅葉」

秋田県側の東成瀬登山口から入山し、胆沢川の渡渉を繰り返しました。もうすぐ八合目の焼石沼でふと空を見上げると、真っ青な空に鮮やかに紅葉する森が目に入り、思わず声を上げ写真を撮りました。九合目への急登は、素晴らしい紅葉に励まされました。

（山田潔・盛岡山友会／岩手）

■「海外登山集会」から「海外山行交流集会」へ
（11 月 9 日 - 10 日）

■ 第 22 回全国登山者自然保護集会 in 徳島
（11 月 16 日）

■自然保護委員会　11月16日　第22回登山者自然保護集会 in 徳島

2024年11月16日～17日、徳島県徳島市で登山者自然保護集会を開催します。一日目は記念講演と各地方連盟の発表、二日目は交流登山で剣山・シカ食害観察です（どちらか一日の参加可能です）。集会では各地方で抱えている自然保護の活動状況と自然保護の問題点について全国で共有していきたいと思います。各会・クラブ・連盟で発表をお願い致します。ZOOM での発表も可能です。原稿締切日は10月20日までとさせて頂きます。

全国自然保護委員長　山本尚徳

【目的】日本勤労者山岳連盟の定めた労山自然保護憲章に基づき、我々登山者は山岳自然の保護を図る使命があります。そこで全国自然保護集会を下記の通り開催します。こんにち日本における山岳環境の課題を学び、各団体等の活動状況の共有を図ることにより、今後の山岳自然環境の保護・保全に役立てていくこととします。今回の主題は次の2つとします。①山岳自然環境に影響を与える開発にどう向き合うか。②地球温暖化とニホンジカの個体数増加にどう対応するか。

【日　時】11月16日（土）13:00～17:00
【場　所】とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）大会議室
徳島市寺島本町西1丁目5アミコビル9F（JR徳島駅南100m）
【参加費】宿泊参加10,000円（宿泊代7,000円+懇親会費3,000円）、日帰り参加1,000円
【内　容】①講演『四国における山岳地域での風力発電等の状況について』
講師：黒田太士（弁護士・えひめ風車NET）
②講演『剣山山系におけるニホンジカの被害と対策について』
講師：森一正（徳島県西部総合県民局保健福祉環境部）
③地方連盟からの報告（希望者はZOOMで発表可）
【交流山行】剣山登山　11月17日（日）希望者のみ
剣山登頂とシカ食害観察等（三好市東祖谷見ノ越より剣山ピストン）
（徳島駅発着6:00～15:00、交通費¥1500/人）
【申込締切】10月31日

詳細↓

■海外委員会　11月9日～10日　第1回全国海外山行交流集会

全国連盟海外委員会は右記の通り、第1回全国海外山行交流集会を開催いたします。これは以前開催されていた海外登山集会を引き継ぎ、海外で様々な山行を行っている労山会員の交流を目的としたものです。詳細と参加申込は、本紙 8 ページと、労山HPをご覧ください。

【日時】11月9日（土）13:00～10日（日）
【場所】日本勤労者山岳連盟事務所
【内容】
9日：登山・トレッキングの報告
10日：記念講演等

詳細↓　申込↓

2025 年 JWAF CALENDER 発売

労山オリジナルのカレンダー。
会員が撮影した山の写真が13点！
各ページの見本は労山HPをご覧ください。

表紙写真：北村浩嗣/長泉麗峰山の会
「憧れの岩稜」北アルプス穂高連峰　ジャンダルム

会員は所属会を通じてお申し込みください。
★会専用申込フォーム：
https://ws.formzu.net/fgen/S55522249/
★申込FAX：03－3235－4324
FAX には、①地方連盟または会・クラブ名 、②氏名 ③住所、④電話番号、⑤注文部数、を明記してください。　※一般販売（1部 1,000 円＋送料）は、申込フォームからは受け付けていません。

仕様：壁掛けタイプ、364㎜×515㎜、B4中綴じ、28ページ、日曜はじまり

■京都府勤労者山岳連盟　北陸新幹線の京都延伸にかかる要望書署名を提出（第 4 次）

北陸新幹線京都延伸計画の見直し要望署名を、8 月 30 日に、鉄道・運輸機構（JRTT）に提出しました（第 4 次）。北陸新幹線の京都延伸計画は、8割がトンネルで、残土、地下水、ヒ素など多くの問題があり、京都丹波高原国定公園や京都市などの環境や自然、生態系に重大な影響を及ぼすため、ルートの見直しを強く求めます。署名は、2020 年 3 月から取り組み、今回 1,345 筆を提出しました。第 3 次分までと合わせて累計 9,744 筆となります。全国労山でも取り上げ、京都の自然と環境に重大な影響を及ぼす計画を見直してほしいと、全国からも約 800 筆の署名が寄せられました。ご協力ありがとうございました。今後届いた署名は JRTT に送付予定です。

JRTT は 8 月 7 日、詳細駅位置･ルート図（案）を示しましたが、工事費が当初の 2 倍以上、期間も 30 年近くになると示され、残土や地下水等の問題は未解決であり、京都市長も「課題があり強い懸念と慎重姿勢」を明らかにするなど状況が大きく変わってきています。**署名は準備書が出される（最速でも今年末）まで続けます。**（署名用紙は労山 HP に掲載）

★2024 年度 京都労山自然保護セミナー案内★

北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える
『中池見湿地の取り組みに学ぶ 市民によるモニタリング調査の重要性』

日時：11 月 30 日（土）13：30～16：30 頃
場所：京都教育文化センター301 号室
講師：福田真由子氏（日本自然保護協会生物多様性保全部）、参加費：300 円
京都労山のふるさとの山である北山の自然を、巨大工事の環境破壊から守るため、
多くのご参加をお待ちしています！
※オンライン参加も準備中

詳細（京都府連 HP）↑

部・局・専門委員会の活動

■ 組織部

全国連盟ホームページ開設支援講習会の実施

9月6日に、大阪府連の組織担当者会議で「ワードプレスの利用メリット、スマホ対応 HP の作成、SNS への対応」として、全国連盟組織部HP開設支援講習会を参加 15 団体 25 名により実施した。

最初に府連組織部長の浜田氏から各会クラブの HP 開設状況報告があり、HP の開設は進んでいるものの運営管理の問題点や課題が挙げられ、他県と同様であることを実感した。講演に入り、インターネットの利用が当たり前になりつつある現状とその利用方法を説明し、HPの活用が会の広報の役割をはじめ、会員間の交流や会員拡大のきっかけになればとの思いを説明した。

講演では配布資料とプロジェクターを活用しながら、「ワードプレスの利用メリット、スマホ対応、HP の作成、SNS への対応」について、初心者向けにできるだけ優しく、分かりやすく理解しやすい内容に心掛けた。配布資料は後日自宅でQRコードによりPCやスマホで内容を深めて貰える工夫をした。その後、全国の HP 開設支援と HP 利用申請について説明しました。今回の講演は副題が「HP のバージョンアップを考えて見ませんか!」となっていたため、参加者が絞られ熱心に聴講して頂き多数のご質問に回答をすることで理解が深まり成功であつたと思う。最後に理事長の高橋氏から HP の重要性について総括があり、会議が終了した。

（組織部員　阿部哲也）

■ 海外委員会

海外山行調査用紙送付と開催要綱他の検討

11 月9日、10 日の海外山行交流集会の準備を進めている。現在、開催要項が全国に発信され、参加者募集が行われている。そこで、これからの2ヶ月間に何をいつまでに達成するかを討議した。今もっとも急ぐことが、集会初日に登山報告をしていただく方を決めることである。登山報告は、集まってきた高峰登山調査用紙の中から4件ほどを選び、今月中に確定したい。

当日の資料集について、表紙、プロブラム、特別講演者の近藤さんの紹介、高峰登山調査用紙、海外山行調査用紙、労山の海外山行の件数のまとめ、参加者名簿が資料集の内容となることを確認した。また同時に、報告者には謝礼はないが、宿泊費、交通費は集会費用で負担する、届いた調査用紙は編集が必要なものもある等も確認し、準備を急ぐためこれからは委員会開催の回数を増やすこととした。　（海外委員　山中芳樹）

■ 労山基金運営委員会

雪・岩・沢で 5 口以上を、冬期登攀・海外登山などには10口を！

労山基金交付金で十分賄えないと思われる事故事例が多く発生している。加入されている口数と交付金を改めて確認をお願いします。登攀・沢登りの事故は相変わらず多く発生しており、事故者の治療には時間を要し高額費用が必要となっている。海外登山では高山病発症リスクがさらに高まり、救助費用は莫大となっている。また、速やかな基金申請審査のため「事故一報 30 日以内の提出」・「登山計画書の提出日・受領日」・「3倍交付申請の場合標準コースタイム根拠（昭文社地図）」の提出を。

労山基金「オンライン説明会」（ZOOM を利用した Web 会議）11月6日（水）19 時～20 時 30 分（10 月 1 日～10 月 20 日 Web 申込）。会・クラブ基金担当者はもちろん、労山基金に関心のある労山会員どなたでも参加可。 事前に質問を受付し説明会で回答する。　（労山基金運営委員　岩﨑健）

★秋の平尾台を歩いてみませんか★

第 35 回全国スポーツ祭典　登山・ハイキング

【日付】11 月 16 日、【場所】平尾台・貫山一帯
全 4 コース：①貫山メインコース/4h45、②広谷湿原コース/3h36、③青龍窟コース 3h58、④D太平山コース 4h11、【集合場所】平尾台自然観察センター9 時 30 分、開会式 10 時、【定員】各コース 20 名
【参加費】200 円（資料代、保険掛金代）
【申込】福岡県勤労者山岳連盟 fwaf555@gmail.com
FAX：092-409-2812（期限 10 月 15 日）、コース・氏名・年齢・連絡先・経験の有無を記載。
【主催】新日本スポーツ連盟・全国スポーツ祭典実行委員会、【主管】新日本スポーツ連盟福岡県連、【共催】福岡県勤労者山岳連盟、【後援】福岡県、北九州市

組織内資料　複写・転載禁止

労山基金 2024年8月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	東京	60代男性 5口	2023/08/05 11時00分頃	北ア　剣・立山周辺 浄土山頂上直下	無雪期登山	転・滑落	下山開始後、15分ほど歩いた所で浮石に乗り転滑落。2回転して止まる。全身打撲して、頭部と右膝から出血。左手首と肋骨も骨折し行動不能と判断。応急処置後、室堂まで富山県警山岳救助隊に背負われて下山。室堂から救急車で搬送。	左橈骨遠位端骨折 肋骨骨折
2	長野	40代女性 1口	2023/08/15 12時15分頃	北ア　槍・穂高周辺 高瀬川支流　大白沢	沢登り	転・滑落	急斜面を下っている時、足元にあった石が崩れ落ちて滑落した。	右額裂傷,右顔面骨折 右眼窩底骨折 左第２指脱臼
3	神奈川	40代男性 5口	2023/08/19 10時10分頃	奥秩父 太刀岡山　左岩稜	登攀	転・滑落	左岸稜３P目を登っていたパートナーが１ピン目に＃１のカムをセットした後、少し登りでスリップ。１ピン目に一瞬ぶら下がったのち、カムが外れ転落。テラスでビレイしていた事故者の左顔面と衝突後、地面でバウンドし、２P目の途中で停止。帰宅後、首、背中が痛いため受診した。	頸椎捻挫
4	長野	60代女性 3口	2023/08/11 10時30分頃	八ヶ岳　蓼科山山麓 東トキンの岩場	登攀	その他	トップロープでクライミング中、ホールドを持って体を引き上げようとした時、右肩に強い痛みが走ったためクライミングを中止する。	右肩腱板不全断裂 右肩関節唇損傷
5	群馬	60代男性 3口	2023/09/16 11時10分頃	奥秩父、瑞牆山 富士見平小屋テント場	無雪期登山	転倒	登山に行き斜面でテント設営時に足を滑らせ、左手首から転倒。	左橈骨尺骨遠位端骨折
6	鹿児島	50代女性 10口	2023/09/10 13時30分頃	霧島・えびの高原 長江川	沢登り	転倒	沢を登っている時、滑りやすい箇所で足を滑らせ、膝をひねる感じで転倒した。	ベーカー嚢腫
7	群馬	70代女性 5口	2023/09/30 14時00分頃	関東・甲信越その他 四阿山	無雪期登山	病気	下山途中、登山道がぬかるみ滑りやすく木の根に足が引っ掛かり転ばないようにと無理な体制で体を捻り維持したが、歩き出すと真っすぐに歩けないが、下山できた。左側の手足腰が痛いが腕腰足は問題ない。翌日、左側の手足が動かないので、救急車で病院に搬送。結果、脳梗塞。	アテローム血栓性脳梗塞、左太腿骨頚部骨折
8	埼玉	50代女性 1口	2023/10/01 12時15分頃	奥武蔵・秩父 金勝山	無雪期登山	転・滑落	げんきプラザ本館で昼食をとった後の下山中、道と斜面の境に出ていた木の根に足を取られ、体が前のめりになってバランスを崩し、斜面にダイブするように回転しながら斜面を5～6m滑落。	右手首橈骨遠位端骨折 左膝脛骨高原骨折
9	広島	60代女性 5口	2023/11/09 14時00分頃	中国・四国その他 鳥帽子岩山　ナメラ岩	登攀	転・滑落	トップロープで訓練中の事故。事故者（確保者）はトップロープでの登攀が終了し、セルフビレイを解除した後に、ロープのよじれを直すためロープを振ったところ、バランスを崩して５メートル転落し、打撲した。	右肩甲骨片峰骨折
10	千葉	70代女性 2口	2023/12/10 14時30分頃	丹沢・道志 高取山・弘法山公園下の坂道	無雪期登山	転倒	高取山経由、14：00頃まで弘法山で休憩後、展望所、弘法山公園経由で下山。舗装道路に出る20m手前の緩い坂道で、バランスを崩し手をつき手首を怪我した。	左手首骨折 左肘関節捻挫 腰痛症（腰部捻挫）
11	栃木	60代女性 3口	2024/03/24 17時30分頃	那須・日光 足尾・常陸 古賀志山 南登山道中腹	無雪期登山	転倒	岩場を前向きで下りていたが、足が滑り背中から落ちそうになった時両手をついた。その時右手薬指の骨がずれた。滑った岩場は、前向きで下りるか後ろ向きで下りるか判断に迷う勾配の岩場だった。	右環指ＰＩＰ脱臼骨折
12	栃木	60代女性 3口	2024/03/26 10時00分頃	西上州・妙義 産泰山から御岳に向かう岩場	登攀	転・滑落	ロープに依り身体確保を施した状態で岩を登攀中、足を滑らせ握っていた鎖と岩の間に手の甲を打ちつけた。	左中指中節骨骨折
13	栃木	70代女性 1口	2024/04/23 08時00分頃	那須・日光 足尾・常陸 百村山　登山口	無雪期登山	転倒	登山口で折畳み椅子に座って靴を履いている時、椅子ごと転倒し右手首を強打した。	右橈骨遠位端骨折
14	長野	40代女性 5口	2024/04/28 13時50分頃	出羽三山・飯豊連峰 二王子岳	積雪期登山	転倒	定高山へ下山途中、チェーンスパイクが木の根に引っかかりバランスを崩した。身体を支えようとして右足を付いたが、踏ん張りきれずに前のめりになった際に右足を内側に捻ってしまった。	捻挫
15	東京	60代男性 10口	2024/04/24 15時30分	エベレスト ベースキャンプ	海外登山	高度障害	ベースキャンプ到着直後に体調が急激に悪化。ベースキャンプに常駐している医師に往診してもらい、高地肺水腫（HAPE)との診断を受け、一刻も早くヘリコプターでのカトマンズ病院への緊急搬送の指示を受ける。	高地肺水腫（HAPE）
16	東京	60代女性 5口	2024/05/05 13時30分	北ア　剣・立山周辺 雄山・一ノ越間	積雪期登山	転倒	室堂から一ノ越までは雪道で12本アイゼン使用、一ノ越から雄山までは上り下り共にアイゼン無しで歩行。雄山山頂から一ノ越までの下山時に転倒し左脇腹を岩にぶつける。少々休憩後に宿泊先の立山室堂山荘まで歩行。	左側6・7番目 肋骨の骨折
17	東京	40代男性 10口	2024/04/28 12時00分頃	北ア　後立山連峰 唐松岳周辺　不帰3峰A尾根	冬季登攀	転・滑落	不帰３峰Ａ尾根の雪稜でリードをして灌木でセルフビレイを取ったあとに、足元の雪が崩れ１ｍ程度雪面を滑った。セルフビレイで止まったがその際に左手薬指をぶつけ内出血、皮膚が破れて骨折。	左手薬指骨折
18	東京	40代男性 10口	2024/05/19 06時00分頃	谷川連峰　谷川岳 一ノ倉沢バス停前	登攀	虫・動植物	5/18に一ノ倉沢の登攀を行い、一ノ倉沢バス停前にテント設営し、長袖、長ズボン、シェラフを着用して就寝。翌朝起きたら腹部をマダニに噛まれていた。	マダニ
19	埼玉	70代男性 10口	2024/05/25 11時50分頃	奥武蔵・秩父 日和田山岩場	登攀	転・滑落	男岩面南。クライミング中、ロープをかけながら登っていった。ほぼ上部に到達したと思われたとき、手か足が滑り仰向けに転落。さらに絡まったロープをほどこうとしたが振られて岩に強打し、そのまま数メートル滑落する。同行者が下ろして心臓マッサージを行う。その後ヘリにて搬送されるが死亡が確認された。	多発外傷　死亡
20	長野	70代男性 3口	2024/05/15 14時30分頃	西上州・妙義 赤城山(黒檜山)	無雪期登山	転倒	ほとんど下山し終わりに近い場所で、あかぎ広場も見える舗装道路まで登山道200mくらいの地点で、登山道から1mほど横に離れてショートカットした足跡があったので、そこを下り始めてすぐ転倒(おそらく岩のどこかにつまずいたと思われる。登山道は終始岩だらけ)。頭部を岩にぶつけ裂傷、同時に左太もも打撲と手足の擦過傷。	頭部裂傷
21	広島	50代女性 5口	2024/06/02 14時00分頃	天応鳥帽子岩山、広島県呉市吉浦町広島湾岸エリア	登攀	転・滑落	天応鳥帽子岩山銀座尾根第一フェイスのマンメリークラックをリードで登攀中、クラックを抜けたところで滑落して岩棚で右足踵をついて負傷。	右踵・側面骨挫傷
22	道央	30代男性 10口	2024/06/01 13時00分頃	北海道その他 芦別岳　夫婦岩	登攀	落石	夫婦岩北西壁ダイレクト4P目をリードクライマーが登攀中に50cmほどの岩塊が剥離して墜落し、下でビレイをしていた事故者の頭部にあたり後頭部に裂傷を負った。	後頭部裂傷
23	道央	40代男性 5口	2024/06/01 13時00分頃	北海道その他 芦別岳　夫婦岩（co1400m）	登攀	転・滑落	北西壁ダイレクトルート4ピッチ目登攀中、リードクライマーが掴んだ50cm程の岩塊が剥離し10m程墜落。墜落時に岩にぶつかってロープで停止した。	左肋骨骨折
24	道央	50代女性 5口	2024/05/18 16時30分頃	北海道その他 ペトツルンペ山	無雪期登山	転倒	下山開始から4時間。根曲がりの激藪との格闘でかなり身体が消耗しており、林道合流まであと僅かではあったが藪を回避して沢の方へと下りていったところ、足元が滑り転倒。丁度、下に大きめの石があり、その上に尻もちついた。	骨挫傷
25	東京	80代女性 5口	2024/06/02 10時00分頃	越後三山・未丈ヶ岳・苗場山 赤湯温泉	無雪期登山	その他	創立山行。帰路の棒沢橋を渡って赤湯林道を15分ぐらい進んだ林道。赤湯林道は所々ぬかるみがあり超えるときに泥の中にある石を踏んで左足首を捻る。	左足首捻挫
26	東京	60代女性 5口	2024/06/16 13時15分頃	関東・甲信越その他 天神山	無雪期登山	虫・動植物	天神山山頂より高畑山に向かい少し下った辺りでお花摘みにいき、肌を露出した際にマダニに右内ももを噛まれる。帰宅後入浴の際に発見。翌日受診。	虫刺され
27	東京	70代女性 5口	2024/08/01	ツール・ド・モンブラン ﾌｫﾙｸﾗ峠からﾄﾘｱﾝに下る道	海外ﾄﾚｯｷﾝｸ	右足首捻挫	7/24から連日の上り500～1000m、下り500～1000mを続ける中、7/31に右足首が腫れ、痛みが出た。7/31及び8/1の朝も患部の冷却・マッサージに加え、テーピングなどの準備を施したが、痛みがあるため歩行を断念。タクシーを手配して目的地に移動。	右足首捻挫

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

事故報告

■遭難対策部　登攀や沢登りでの転滑落に注意を

8 月 30 日までに届いた事故一報は、37 件 39 名。今月の事故原因は、転倒が 18 名、体勢が 1 名、転・滑落が 9 名、虫・動植物が 4 名、落石が 1 名、その他が 6 名。登山形態は、無雪期が 20 名、登攀が 5 名、沢登りが 10 名、海外登山が 1 名、人工壁が 2 名、訓練が 1 名。下山中の事故は 15 名(内 11 件が転倒事故)。

今月はヘリ搬送されるケースが 2 件発生している。うち 1 件の事故は、沢登り終了後に登山道で発生した事故である。15m 程滑落し木にザックがぶつかり停止したが腰椎を損傷した。車で入れる宿坊まで距離が近くサポートし歩いたが、その後救急車とドクターヘリで病院に搬送された。細くて多少荒れている一般登山道ではより慎重に歩行すべきで、枯葉に隠れた倒木や浮いた石がある事を認識して頂きたい。歩行能力の力量に合ったルートを選ぶと共に安全対策の徹底をお願いしたい。

虫・動植物では 4 件発生し、マムシの事例 1 件、蜂に刺される事例が 1 件、マダニに咬まれる事例が 2 件あった。マムシについては入山直後、手を置いた岩で咬まれている。蛇特定の為に写真を撮り、応急処置を行い救急車にて搬送された。ポイズンリムーバーの使用や蜂対策用スプレーも状況に応じて持参して頂きたい。10 月の遭難対策部会での取り組みは「若手クライミング講習会」10 月 5～6 日小川山、「登山寿命をのばす為の講習会」10 月 19～20 日筑波山と行事が続いている。山本先生の「登山と身体の科学」に興味のある方は講習会への参加をお勧めする。申込み先等詳しい内容は、全国のHPで確認して欲しい。　　(遭難対策部長　石川昌)

８月１日から９月１日までに届いた事故一報

	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	7/21	東京	31	男	小川山	登攀	転・滑落	リードで登攀後は立木にメインロープを直掛けし、バックアップ付き懸垂をしながらギアを回収する想定。立木でセルフビレイを確保しビレイ解除、メインロープを引き上げた。	右肘剥離骨折
2	7/19	大分	90	男	富士山	無雪期	転倒	下山中、右足を滑らせ、くるぶしのあたりが痛くなり歩けなくなった。	捻挫
3	7/7	福島	62	男	吾妻山	沢登り	転倒	遡行中に右岸スラブ通過の際、固定ロープに頼りすぎて、早く通過しようと移動した時にスリップして転倒した。	右膝右肩の打撲傷
4	7/20	長崎	74	男	御前岳	無雪期	転倒	下山口まで30分、標高883m付近の沢沿いで、先に歩いていた男性が岩の上に足を載せた途端滑って転倒し、それを手助けしようと慌てて近寄り同じ岩に足を乗せて滑って転倒し受傷した。	左足関節外果骨折
5	8/01	東京	72	女	ツール・ド・モンブラン	海外登山	体勢	7/24から連日の上り500～1000m、下り500～1000mを続ける中、前日の7/31に右足首が腫れ、痛みが出た。　前日及び当日の朝も患部の冷却とマッサージに加え、テーピング等を施したが、痛みがあるため歩行を断念し、タクシーで目的地に移動した。	右足首捻挫
6	7/16	兵庫	72	男	大雪山系	無雪期	虫・動植物	縦走路のどこかでマダニに咬まれ、下山後、背中にマダニが付いているのを発見した。翌日、旭川市内の医院に行きマダニを取り除いてもらい、塗り薬と飲み薬を処方してもらった。	マダニによる咬傷
7	7/16	兵庫	69	女	大雪山系	無雪期	虫・動植物	縦走路のどこかでマダニに咬まれ、下山後、背中にマダニが付いているのを発見した。翌日、旭川市内の医院に行きマダニを取り除いてもらい、塗り薬と飲み薬を処方してもらった。	マダニによる咬傷
8	7/13	岐阜	63	男	明王山	無雪期	転倒	下山中、平坦な道を速走りで歩いていた時、右の岩につまづき前のめりに転倒。両手をつき、右手小指を負傷した。	右小指腱性マレット
9	7/28	東京	77	男	小川山	登攀	転・滑落	小川山の岩場「春のもどり雪」ルート1ｐをリード登攀中に、1ピン目をクリップした後にスリップして滑落した。今回左ルート10aをトライしたもの。約2.5m落下してグラウンドフォールせずに止まった。この時に背中を打撲し右手薬指裂傷を負ったが、しばらく休養し歩いて自力で駐車場まで戻った。	胸腰推骨折（背骨にヒビ）・右手薬指裂傷
10	7/28	神奈川	38	男	木曽川水系柿其川	沢登り	転倒	入渓後間もない河原の1.5m程度の大岩を乗り越える際、持ち上げた足を滑らし河原の岩に尻もちをついた。その後遡行を続けるも翌日以降も痛みがあり受診。	仙骨骨折（ヒビ）
11	7/30	埼玉	69	女	焼石岳	無雪期	転倒	明け方までの雨で水の流れる斜度-10%前後の岩場を下っている時に、濡れた石で後ろに滑った拍子に手をつき右手首を骨折した。	骨折
12	8/10	東京	76	男	市道山	沢登り	転・滑落	9:37ウルシガ谷沢入渓。 11:04途中の3m滝をロープで確保して登るが右足を踏み外し、右肩を打撲・脱臼した様で、沢は中止し、メンバーで協力して下山し、車で病院へ。	肩関節脱臼
13	7/28	広島	62	女	赤岳	無雪期	転倒	頂上から下山中、ガレ場で斜面に対して横向きに下ったため、ガレ場の石で滑り、左足首をひねる。	左足首捻挫
14	8/03	東京	68	女	岩手山	無雪期	転倒	山頂から山頂直下に下山中、下りのザレた登山道で右足を滑らせて尻もちをついた。その際、左膝付近にひねりが加わりながら正座をするような形で膝が曲がってしまった。しばらく様子を見たが、自力下山不可と判断し、救助要請した。	内側側副靱帯損傷
15	8/10	道央	54	女	トムラウシ山	無雪期	転倒	ドロンコ道で、山側によけた時に滑って転倒。左手をついて痛めた。	橈骨遠位端骨折
16	8/11	東京	45	男	高瀬川北葛沢	沢登り	転倒	休憩後、遡行を開始し右岸から左岸に渡ろうとした時、石が滑り体が左に傾いた。バランスをとり立て直そうと思ったが、左足の先端が石に引っかかり体勢を立てなおせず大きく転倒。転倒時に左足首が石に引っかかったままになっていた為、思いの外捻った状態になった。	腓骨骨折

	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
17	7/23	福岡	69	男	雲ノ平	無雪期	転倒	雲ノ平山荘近くの木道で滑って転倒した時に左膝を強打した。当日は痛みも腫れもなかったが、翌日から違和感が生じた。	左膝蓋骨ヒビ割れ（左膝の皿のヒビ割れ）
18	7/23	神奈川	87	男	大岳	沢登り	転・滑落	大岳沢の沢歩きで、間違えて右の支沢に入渓した。スマホのGPSで位置確認して間違いに気付いた。下山は沢を戻るよりも尾根を下るほうが早いと判断。この尾根が思っていた以上に急峻で３ｍほど滑落し、樹木の幹に左脇腹を激突する。	左側肋骨1本骨折
19	8/2	広島	59	女	剣岳	登攀	転・滑落	チンネ左稜線を登攀後、熊の岩テント場に戻る途中、傾斜のきつい雪渓（長次郎谷右俣上部）でアイゼンがきかず２０メートルくらい滑落し、シュルンドに転落した。	左肩挫創　腰部打撲・腰椎捻挫　左足関節捻挫
20	8/3	千葉	80	男	霧降高原	無雪期	転倒	丁字の滝を見終わって戻る際に石に躓いて転倒し、その際に額を打撲した	頭部外傷（打撲）
21	8/4	大阪	59	女	錫杖岳	登攀	その他	2ピッチ目。２ｍほど登攀し持った岩がはがれて４ｍほど滑落（ビレイ支点より２ｍほど下）。左腕を離さなかったため、背中方向に左腕に負荷がかかり、左前腕骨折（7時45分頃事故発生）。現状を警察が把握し、本人自力で懸垂下降し沢沿いまで行くように指示をうける。自力で登山道入口まで行く。12時過ぎに登山道入口到着し、救急車で搬送。	左尺骨骨幹部開放骨折
22	8/7	和歌山	49	女	御嶽山	無雪期	転倒	山小屋裏の小高い丘から、下りてくる際に転倒。右足を捻りまったく歩けなくなる。下山は岐阜県警のヘリで降りてきた。	右足靱帯損傷
23	8/11	福島	63	男	朝日岳	沢登り	落石	宿泊地の恵振谷源流部から下降中、歩行中に左上部から50㌢四方の浮石が落下。左足先全体を打撲。歩行可能なため、入山地点の蓮華温泉に戻る。	左足指骨折（ヒビ）
24	8/12	道央	54	男	黒部五郎岳	無雪期	転・滑落	岩稜帯で滑り１ｍ程度滑落し右足を捻った状態でつき、さらに転落。転落を止めるため左腕を捻った状態でハイマツを掴む。痛みはあるが歩けたのでテーピング固定、自力下山。	右足腓骨骨折　左肩腱板損傷
25	8/13	東京	74	男	赤岳	無雪期	転倒	宿泊した赤岳天望荘から直接行者小屋方面への下山中、段差を下りる時に転倒し、左半身から地面に落ちた。着地した左足が滑ったものと考えられる。	肋骨骨折
26	8/16	東京	54	女		人工壁	体勢	リード壁のルートをトライ中、体を左の方に捩じって、左上方のホールドをつかみにいった時に、右肋骨にコキという音がした。違和感を感じ、すぐにトライを終了。痛むため救急外来を受診	右６肋骨骨折
27	8/18	宮城	62	男	岩岳	無雪期	その他	丸森のクライミングエリアに向かう登山道中の急斜面を登っている時。	左足ふくらはぎ肉離れ
28	8/18	愛知	60	男	西三河	訓練	虫・動植物	現場に到着し東屋に荷物を置き準備をしようとした時、東屋天井部に蜂の巣があることを知らず、蜂を驚かせてしまった為か、数匹向ってきて刺された。	虫刺され（黄色スズメバチ）
29	8/18	兵庫	63	女	前鬼川	沢登り	転・滑落	前鬼川（沢セミナー修了山行）垢離取場で12：15遡行終了。その後、尾根をトラバースする形で、細い一般登山道を進んで小仲坊へ向かった。小仲坊まであと250mの地点で15mほど滑落。木に背中のリュックからぶつかり、滑落は止まった。サポートしながら小仲坊まで歩く。救急車とドクターヘリで病院へ搬送。	第1～第3　腰椎横突起骨折（右側の突起）
30	8/8	静岡	53	女	網笠山	無雪期	転倒	会の８月の定例山行で押手川までは順調で、押手川手前の急登部の岩場を登ろうとして滑って着地時に右足を挫いていしまった。	右足関節外側靭帯損傷
31	7/30	埼玉	64	女	屋久島　縄文杉	無雪期	転倒	縄文杉を観察後、トロッコ道まで残り３キロの地点で、レールの間に幅20センチの板が２枚並べて敷いてあり、その板を踏み外してしまい、足首を挫いてしまいました。	左足腓骨骨折
32	8/18	愛知	75	男	蓼科山	無雪期	転倒	将軍平より下山中、ザレ場で足を取られ転倒した。	左足腓骨骨折
33	8/17	大阪	50	男	六甲山	無雪期	虫・動植物	入山開始30分後、岩の上に手を置いた際にマムシに咬まれた。蛇の種類が不明の為、写真を撮り応急手当後に下山し救急車を要請した。	マムシ咬傷
34	8/19	大阪	49	女	-	人工壁	転・滑落	リードでクライミング時に落下し、ホールドに足をぶつけた。痛みがひどかったため受診。	種子骨骨折
35	8/12	神奈川	35	男	太刀岡山	登攀	転・滑落	太刀岡山左岩稜1ピッチ目、リードでの離陸時に1mほど登ったところで足を滑らせて滑落。グラウンドフォールし尾骶骨を強打。その後30分ほど休憩し、リードを交代して登攀再開、結局3ピッチ目まで登る。時間切れで3ピッチ目終了点から懸垂で取付きに戻りそのまま下山	尾骶骨骨折
36	8/18	島根	69	女	大山	沢登り	転倒	下山開始20分後、沢の対岸に渡る際、濡れた石に移り滑って転倒した。その際に左手をつき骨折した。	左手首骨折
37	8/20	東京	52	女	穂高岳	無雪期	転倒	転倒し、顔面を地面にぶつける。	切傷
38	8/25	岡山	48	男	山乗渓谷津黒高原	沢登り	その他	滝つぼに飛び込んだ時、下に岩があり左膝を強打した。岩の上にあげて膝の固定をした。ガイドの手配で救急車を呼んだが車道まで距離があったのでヘリコプターで搬送されました。	左膝蓋骨骨折・左大腿骨外顆骨軟骨損傷
39	8/25	岡山	53	女	山乗渓谷津黒高原	沢登り	その他	滝つぼにガイド3人付きで1人ずつ飛び込む。足がつかないのでバタバタしていたら岩に左足小指をぶつけた。後日受診。	左足第五指基節骨骨折

事故一報の受領順で掲載

年齢	２０代	３０代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	3	2	2	6	6	2	1	22
女性	0	0	2	7	7	1	0	0	17
合計	0	3	4	9	13	7	2	1	39

形態	無雪期	積雪期	人工壁	海外	登攀	氷瀑	沢登り	訓練	合計
男性	11	0	0	0	3	0	7	1	22
女性	9	0	2	1	2	0	3	0	17
合計	20	0	2	1	5	0	10	1	39

原因	転倒	転・滑落	体勢	落石/氷	虫/動植物	病気	下山遅れ	その他	合計
男性	10	6	0	1	3	0	0	2	22
女性	9	3	2	0	1	0	0	2	17
合計	19	9	2	1	4	0	0	4	39

その他：脱臼2、体調不良1、下山後の痛み1、不明1

傷病	骨折	刺傷	咬傷	捻挫	脱臼	打撲	損傷	その他	合計
男性	14	1	2	2	1	1	0	1	22
女性	10	0	1	3	0	0	2	1	17
合計	24	1	3	5	1	1	2	10	39

その他:突き指1,蜂窩織炎1、虫刺され1、関節炎1
挫傷1、検査中1、網膜剥離1、死亡3

「海外登山集会」から「海外山行交流集会」へ

海外委員　山中芳樹

今秋、全国連盟海外委員会は「海外山行交流集会」を開催いたします。これは2010年に開催された第22回海外登山集会以来、14年振りに開催される、海外の山行に関する全国集会です。かつて海外登山集会は1977年の第1回から、途中少しの空白はありましたが、30年以上にわたって続けられた集会でした。海外登山を志向する労山会員が一堂に会し、経験や情報を交換し、交流を通して海外への思いを高め合ったものでした。

労山の海外登山（すなわち高所登山）は1970年代の黎明期を経て、1980年代になると一気にその登山熱が高まり、多くの隊がヒマラヤ、南米、その他の高所登山の舞台へと向かいました。全国連盟では1988年から「実践高所登山学校」を開校し、2004年までの期間に百数十名を超える6000m以上の山々の登頂者を送り出しました。一方、全国連盟の8000m峰登山隊も組織され、1994年から2009年まで14座中の11座に挑み、そのいずれにも登頂し、47名の8000m峰登頂者を生み出しました。この時期のこうした高所登山における成果は全国連盟隊ばかりでなく、労山内外の日本各地にありました。それは世界的に高所登山が隆盛していた時代の中で生まれたことでした。そうした時代を背景として海外登山集会は毎回、70名から80名以上の参加者をもって開催されました。

時が進み、海外登山の様子は変わりました。近年の労山の会員による海外登山、トレッキング、クライミングすなわち「海外山行」は1年に300を遙かに超える数があります。コロナ禍の影響が残った2023年は200余りでしたが、コロナ禍前の2019年には400を超えていました。その中で高所登山に限れば、商業公募登山隊への参加も含め20余りです。それも少人数隊が目立ちます。かつてのように自らどう登るかを組み立てて、登山活動を行なおうとする登山隊は少ないのが現状です。一方、トレッキングは全体の半数に昇ります。6000m未満の登山、クライミングも高所登山に比べればずっと多い数です。そしてそれらの中には意欲的な山行も多々見られます。

インターネット時代の今、海外山行に関する情報も昔に比べればずっと得やすくなりました。しかしながら、全国連盟に寄せられる多数の海外山行計画書を見ると、海外山行を志向する会員がかつてのように経験や情報を交換し、交流し合う場があることは、今日において意義あることと海外委員会は考えます。この集会ではインターネットからでは得られない、生きた情報と刺激がきっとあると確信します。海外登山がヒマラヤ登山、あるいは高所登山とイコールのように捉えられた頃とは違い、多様化した海外山行の一つ一つに喜びがあり、価値があることを認識し、それらの海外山行を改めて見つめ直すところに「海外登山集会」から名称を「海外山行交流集会」へと変更する意味があります。高所登山だけでなく、意欲的な海外登山、トレッキング、クライミングにまで対象を広げ、広く労山の中でそれらの山行に触れてもらうことによって、また新たな海外の山行が生まれてくる、そのような連鎖が起きてくることを期待して、秋の集会を開催したいと思っています。

以下に今秋の集会について記載します。

〈名称〉 第1回海外山行交流集会
〈期日〉 2024年11月9日（土）～10日（日）
〈場所〉 労山全国連盟事務所　会議室
〈内容〉 特別講演　近藤和美氏
『ヒマラヤ登山 これまでとこれから～超高峰登山の変遷考察』及び
スライド映写『NO LIMIT　ある雪豹登山家の足跡』
海外登山、トレッキング等の山行の報告、その他
※近日中に集会開催要項を発表します。

バギラティ三山を背景に荷揚げするポーター
撮影　山中芳樹　2024年5月27日　埼玉県連・インドヒマラヤトレッキング隊にて